

製品名: HMG-17 (リン酸化 Ser29) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab04784**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:5000-1:10000
分子量	15-17kDa

抗原情報

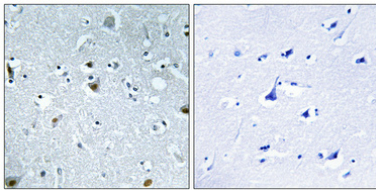
遺伝子名	HMGN2
別名	HMGN2; HMG17; Non-histone chromosomal protein HMG-17; High mobility group nucleosome-binding domain-containing protein 2
遺伝子 ID	3151.0
SwissProt ID	P05204
免疫原	抗血清は、ヒト HMG17 の Ser29 リン酸化部位付近の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 1-50

背景

高移動度ヌクレオソーム結合ドメイン 2 (HMGN2) ホモサピエンス この遺伝子によってコードされるタンパク質はヌクレオソーム DNA に結合し、転写活性のあるクロマチンと関連している。類似のタンパク質である HMGN1 と共に、このタンパク質は転写遺伝子周辺のオープンクロマチン構造の維持に寄与する可能性がある。また、このタンパク質は細菌、ウイルス、真菌に対する抗菌活性も有ることが分かっている。[RefSeq 提供、2014 年 10 月]、機能: ヌクレオソーム DNA の内側に結合し、DNA とヒストン八量体との相互作用を変化させる。転写遺伝子を独特のクロマチン構造に維持するプロセスに関与している可能性がある。、質量分析: PubMed:10739259,PTM:リン酸化は細胞質局在を促進する。、類似性:HMGN ファミリーに属する。、細胞内局在:リン酸化により細胞質が濃縮される。、

研究分野

画像データ



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晚) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。